

第5節

母親のメディア意識

(2) 家庭のメディアルール

母親のメディア意識について、デジタルメディアを使用する際の家庭でのルールをたずねた。その結果、母親自身の情報モラル意識は高いが、父親に対しては情報モラル意識の保持を認識しつつも懸念もあることがわかった。また、年齢層が高いほどメディアルールに配慮する母親が多い傾向がみられた。

第5節では、母親のメディアにかかわる意識として、デジタルメディア（テレビ、ビデオ・DVD、アプリ・ソフト）を視聴・使用する際の家庭でのルールについて、母親・父親・祖父母の観点から述べる。

●母親の高い情報モラル意識

図3-5-1は、母親に家族のメディアルールについて、4段階評定尺度（「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」）でたずねた結果から、「あてはまる」と「ややあてはまる」の選択率をまとめたものである。

家族のメディアルールとして、もっとも徹底している項目は、「私は、子どもの前で、マナーに気をつけている（78.8%）」であり、母親として情報モラル意識が高いことがわかる。次に、「配偶者は、子どもの前で、マナーに気をつけている（57.9%）」と父親の情報モラル意識を認めつつも、「配偶者の、子どもへの見せ方・使わせ方が気になる」母親も41.0%存在する。それよりは少ないが、母親の30.9%が、「自分の親や配偶者の親の、子どもへの見せ方・使わせ方が気になる」と回答している。これは、核家族の家庭が多く、祖父母との接触が減少していることも背景にあると考えられる。

また、「家族で、子どもが見たり使ったりする内容が年齢に適切か、話し合っている」と回答したのは半数近く（48.3%）であり、

家庭で子どもを中心にルールを設定する様子がうかがわれる。

●年齢層が高いほどルールは厳守化

図3-5-2は、図3-5-1で示した家族のメディアルールについて、20代以下・30代・40代以上の3世代別に表したものである。

母親自身の情報モラル意識「私は、子どもの前で、マナーに気をつけている」は、20代以下68.5%<30代78.9%<40代以上82.5%となっており、40代以上の母親の8割以上がメディアルールを守っていることがわかる。

同様に、「配偶者は、子どもの前で、マナーに気をつけている」と回答したのは、20代以下43.8%<30代59.3%<40代以上59.6%であり、「家族で、子どもが見たり使ったりする内容が年齢に適切か、話し合っている」と回答したのは、20代以下36.4%<30代48.3%<40代以上53.2%であった。これは、20代以下より30代や40代以上の方が家族の歴史が長い場合が多いため、相互理解が深まっている可能性が示唆される。「配偶者の、子どもへの見せ方・使わせ方が気になる」のが、20代以下36.7%<30代40.8%<40代以上44.9%となり、40代以上の母親が父親に厳しい背景も、家族としての時間の長さゆえと考えられる。

本調査では、別問（「最近、子育てについて次のようなことを感じことがあります

図3-5-1 家族のメディアルール

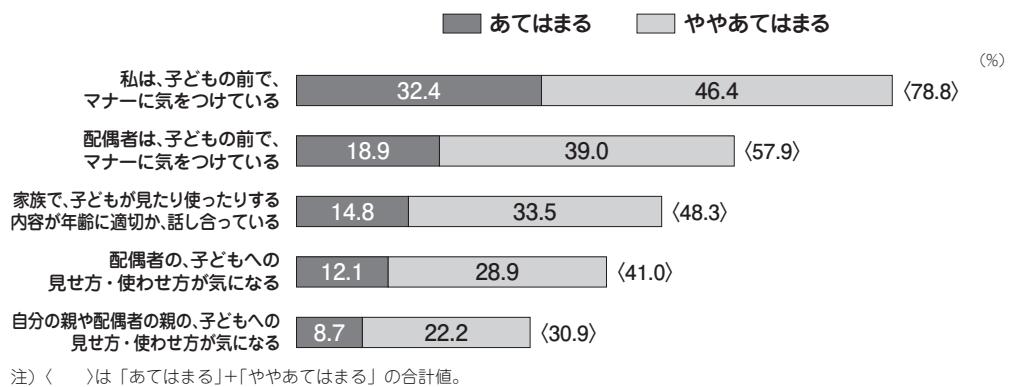
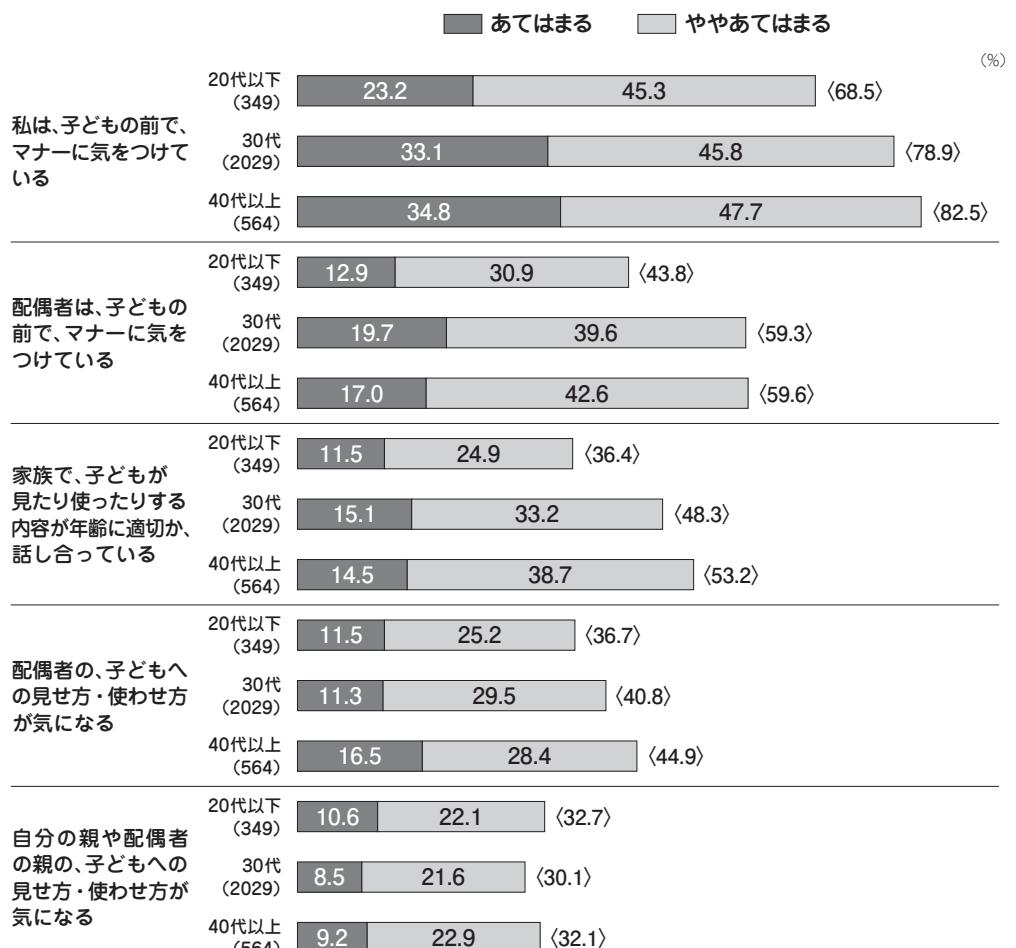


図3-5-2 家族のメディアルール（世代別比較）



か」)で、「小学校入学前に、デジタルメディアの使い方を学ばせたい」について、4段階評定尺度(「よくある」「ときどきある」「あまりない」「ぜんぜんない」)でたずねていた。「よくある」「ときどきある」の選択率をまとめた結果、20代以下 22.3% > 30代 17.9% > 40代以上 16.3% となった。全体的に選択

率は低いが、デジタルメディアの機器操作については、若年層ほど関心が高いことがわかる。

世代が上の母親ほど、子どもに対してデジタルメディアの情報モラル意識は高いが、機器操作の必要性は低いことがわかった。